

平成 29 年度第 4 回(第 58 回)CPDプログラム委員会議事録

日 時 : 平成 30 年 3 月 29 日 (木) 13:00~15:00

場 所 : 森戸記念館 第 3 会議室

出席者 (順不同・敬称略) :

高木真人委員長、湯本公庸委員、田中良彦委員、石川敬祐委員、植山淑治委員、
小澤郁夫委員、境大学委員、高田英治委員、石川善信委員、尾崎章幹事
オブザーバ : 須藤亮会長

配布資料

資料 4-1	平成 29 年度第 3 回 (第 57 回) CPD プログラム委員会議事録 (案)
資料 4-2-1	第 15 回(平成 29 年度第 4 回)CPD 運営委員会 H30. 2. 21 議事録(案)b
資料 4-2-2	平成 29 年度第 2 回 CPD 協議会公開シンポジウム報告
資料 4-2-3	H30 年度事業計画、平成 29 年度事業報告
資料 4-2-4	CITP 論文
資料 4-3	平成 30 年度第 1 回 CPD 協議会シンポジウム準備状況
資料 4-4-1	CPD 協議会 Web ページの変更 (案)
資料 4-4-2	学協会関係の CPD 状況調査について
資料 4-4-3	CPD ポータルサイトの現状
資料 4-5	「日本工学会の在り方検討委員会」の進捗

議事

1. 前回議事録の確認

- 資料 4-1 により、前回の議事録確認を行った。特段の修正・コメントが無く、本議事録は承認された。

2. CPD 協議会運営委員会報告

- 資料 4-2-1 により、CPD 協議会運営委員会の議事内容が報告された。
 - ▶ 昨年開催された第 2 回 CPD 協議会公開シンポジウムの開催報告について、資料 4-2-2 にて報告した。
 - ▶ 平成 29 年度事業報告(中間報告)案、H30 年度事業計画案について、資料 4-2-3 にて報告した。(本案は理事会で了承済のものである。)
 - ▶ 情報処理学会の資格制度に関する資料として資料 4-2-4 「CITP 制度を活用した高度 IT 人材の育成」が紹介された。次回の CPD 協議会公開シンポジウムで、これに関連した講演ができないか、情報処理学会に打診中である。

3. 平成 30 年度第 1 回シンポジウムについて

- 資料 4-3 により、本年 5 月 30 日(水)午後開催予定である平成 30 年度第 1 回シンポジウ

ムの準備状況を報告した。

- 当日午前中に協議会の全体会議が計画されており、予定頂くようお願いした。

4. 委員会の活動について

1) 協議会Webページの改善

- 資料4-4-1により、「CPD活動事例」ページ、「リンク」ページ改善の進捗について、幹事から報告した。
- 「CPD活動事例」のページは資料に基づき変更するよう事務局に依頼する。
- 「リンク」ページについては、各学協会の了解を事務局経由で取得するようにする。建設系CPD協議会、建築設備士関係団体CPD協議会についても関連団体としてリンクを掲載する方向で調整する。

2) 学協会関係のCPD状況調査について

- 資料4-4-2により、調査の進捗状況について幹事から報告した。
- 資料記載以外に、空気調和・衛生工学会殿からも既に回答を頂いており、別途情報共有を行うこととする。
- これに関連して以下のようなコメントがあった。
 - 何人くらいの方が取組んでいるかの情報もあると良い。
 - 資格と結びついている場合とそうでない場合で人数に差がある。もともと、資格を海外と相互認証するためにCPDが必要との議論があって始まっている。資格と連携していない学協会では人数が伸びない。一方、公共団体の入札資格審査に使われるようになると普及が進む。
 - 技術士会では認定会員の定期審査を行っているが、審査員の負担が大きく問題になっている。審査方法の合理化・効率化についても検討・情報共有が必要である。
 - 空気調和・衛生工学会でも、認定プログラムの審査、登録エビデンスの全数チェックを行っている。
 - CPDの実績登録においても、インプット手続きが煩瑣な場合は、登録者が減ってくる。

3) CPDポータルサイトの現状について

- 資料4-4-3により、ポータルサイトの現状について幹事から説明を行った。
- 本資料だけで今後の活用の方向性を判断することは難しいので、どの程度の認知度（アクセス数）があるか、どの学協会のWebページを巡回する設定となっているかなどを調査することとした。
- 各学協会においても、本ポータルサイトの認知度を、教育関連の委員会等で（定性的に）調査頂くこととした。
- ポータルサイトを見つけることも難しい（Webページの奥の方にある）ので、残して活用する場合は改善が必要とのコメントがあった。

5. その他

1) 「日本工学会の在り方検討委員会」の進捗報告

- 資料4-5により、同委員会が実施したアンケート結果の主要な意見について、固有名詞を伏せた上で、報告があった。
- 委員会での検討結果は、6月の日本工学会定時社員総会で報告される予定とのこと。

2) その他意見交換

- 化学工学会が協議会からの退会を希望している理由を確認する必要がある。
- 建設系のように受注に結びつけられる、資格に紐づけられて有効に活用できるなどが無いと、受講者がCPDの有効性を実感できない。
- 当初は学協会の垣根を越えてプログラムを共有しようとしたが、途中でそれは困難ということになった。
- 機械学会は会員カードやカードリーダーを準備してシステム化を行ったが、取得ポイントの活用が少ないこと、システム維持費を考えると会員サービスのメリットが無いとの判断になった。
- 電気学会では会員アンケート調査の結果CPDポイント管理システムの維持を継続することになったとの発表がシンポジウムで行われた。
- 地盤工学会では、資格制度を創設したが、CPDポイントの登録は建設系のシステムで行っている会員が多いと思われる。技術士に対しては、学会が実施した教育について、その内容が判る受講証明を出している。

3) 次回

- 次回の委員会は6月頃に予定。別途日程調整を行う。

以上